

1. 開催都市挨拶

渋谷区長 長谷部 健 氏

皆さまこんにちは。本日は渋谷にお越しいただき、ありがとうございます。活発な意見交換の場であるこのシンポジウムに是非参加したかったのですが、議会と重なりましたためコメントでのご挨拶となり、大変申し訳ございません。日本版 BID と言われる地域再生エリアマネジメント負担金制度が実現し、エリマネ活動はますます盛り上がりを見せてきています。渋谷区も全国エリアマネジメントネットワークに参画し、これまで様々な知見をいただけてきました。毎年東京で開催されるシンポジウムですが、今回は初の大丸有地区以外での開催であり、初めて渋谷で行われることは、大変光栄なことと感じております。

渋谷区は国内だけでなく、海外の先進都市と比べても高く評価される自治体にしていきたいと考え、ロンドン、パリ、ニューヨーク、渋谷区と言われるようなまちづくりを目指しています。渋谷に住む人はもちろん、渋谷で働く人、学ぶ人、訪れる人などが集い、多様な担い手のアイデアやノウハウを集め、今までにない発想やパワーでまちづくりを進める渋谷モデルを構築しています。例えば、盆踊り、年末カウントダウン、おとなりサンデー、区民・企業等が相互に連携して共同型のまちづくりを目指し、盛り上げる人たちに多く集まってもらっています。

渋谷駅は再開発に着手し、オリンピックを挟んで 2027 年ごろまで開発が続きます。また、その周辺でも更なる開発が始まっていきます。大規模再開発に伴う工事が十数年にわたって続くことから、まちの賑わいや活力が低下してしまう恐れもあります。工事期間中であっても来街者が安心してショッピングを楽しめ、ファッションや音楽など文化の発信や賑わいを創出していくことは、エンターテインメントシティを目指す渋谷の発展につながっていくことと考えます。地元関係者や警察と協議しながら、更なる賑わいの創出と情報発信をしていくためには渋谷においてもエリマネ団体の役割がとて大きいです。そのような背景のある渋谷で、エリアマネジメントの議論をしていただくことは大変有難く、自分たちも相応しい場ではないかと思っています。開催にご尽力された関係者の皆様に感謝申し上げます。是非、渋谷のまちとエリアマネジメントを題材に議論が盛り上がり、盛会となりますことを祈念しております。本日はシンポジウムの開催、誠におめでとうございます。